

## 1 試験区分等

試験区分	採用予定数	受験資格年齢 (令和8年4月1日時点)
事務	140人程度	22歳から30歳まで
社会福祉	50人程度	22歳から30歳まで ※1
心理	10人程度	
土木	10人程度	22歳から30歳まで
建築	数人	
機械	数人	
電気	数人	
農業	数人	
造園	数人	
環境	数人	
衛生監視員	数人	
保健師	15人程度	30歳まで ※1
消防	45人程度	22歳から30歳まで
消防(救急救命士)	20人程度	22歳から30歳まで ※1
学校事務	15人程度	22歳から30歳まで

※1 年齢要件のほかに免許・資格が必要となります。

受験資格や申込方法の詳細は、4月8日(火)から横浜市職員採用案内ホームページに掲載する受験案内で御確認ください。

※2 本試験に申込みをした方は、試験区分や受験の有無に関わらず、令和7年度に横浜市人事委員会が実施するその他の採用試験に申し込むことはできません(「障害のある人を対象とした横浜市職員採用選考」及び「横浜市育児休業代替任期付職員採用候補者選考」を除く。)

なお、「令和7年度横浜市職員(大学卒程度)採用試験【春実施枠】」に申し込んだ方は、試験区分や受験の有無に関わらず、本試験に申し込むことはできません。

## 2 主な変更点

### 消防区分を一部統合します

消防【一般】区分と消防【専門】区分を統合します。なお、第一次試験科目は教養試験のみとなります。

令和7年度(新)		令和6年度(旧)	
試験区分	第一次試験科目	試験区分	第一次試験科目
消防	教養	消防【一般】	教養
		消防【専門】	専門(科目選択)

※ 消防区分で入庁した場合においても、本人の適性や希望等に応じて、「土木」「建築」「化学」「電気」などの専門性を活かしたキャリアに進むこともできます。

### 心理区分の受験資格を明確にします

受験資格のうち、『心理学を専修する学科又は心理学を専攻する研究科に「相当する課程」』の内容を明確にし、受験資格の有無を分かりやすくします。

※ 受験資格についての詳細は、令和7年4月8日公表予定の受験案内をご確認ください。